



# LIXIL 門扉用電気錠 FamiLock 有線式 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号

-  **ポイント**
  - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
  - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
  - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
  - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>

### 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

### ポイント

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 配線および埋設管は、現場で手配してください。
- 埋設管にはPF管を使用してください。
- 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことが無い場所を選んでください。

## <施工上のご注意>

### 注意

- ボルト、ねじは当社指定品を指定本数使用し、下記締付トルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
〈推奨トルク〉アルミ φ4ねじ：1.5N・m±0.5N・m (15±5kgf・cm)  
樹脂 φ4ねじ：1.0N・m±0.5N・m (10±5kgf・cm)
- 器具を分解・改造したり、部品の交換をしないでください。火災・感電・落下によるケガのおそれがあります。
- ガス機器やその排気筒などの温度が高くなるものの近くには取付けないでください。火災のおそれがあります。
- 電源ユニットは以下の場所には絶対に取付けないでください。火災・感電・落下によるケガのおそれがあります。  
・補強のない薄い場所 ・傾斜した場所 ・据置き

## <施工上のご注意> (つづき)

### ポイント

- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。ガタツキがある場合、落下によるケガのおそれがあります。
- 施工終了後は、ねじにゆるみがないか確認してください。
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいでください。
- 付属のボックス固定用ねじは、木ねじを同梱しています。取付ける相手側にあわせて、十分な固定強度を確保できるねじを別途現場で準備・交換してください。
- シーケレットキー(テンキー)を使用する場合、スイッチボックスに排水管を必ず設けてください。排水管が無い場合にはシーケレットキーが破損するおそれがあります。
- シーケレットキー(テンキー)を使用する場合、シーケレットキー本体の継ぎ目にシーリングをしてください。シーリングをしない場合にはシーケレットキーが故障するおそれがあります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

## <電気配線工事について>

### 注意

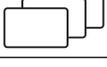
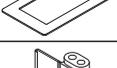
- ※電気配線工事について下記の項目を守ってください。守られない場合に漏電や感電につながるおそれがあります。
- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行ってください。
  - AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
  - 屋内からのシーケレットキーや電源ユニットまでの配線については、100Vおよび200Vの配線と接近して平行または交差しないでください。平行に配線する場合は、500mm以上離してください。また、埋込配線の部分は、100Vおよび200V電源とは別配管にしてください。
  - 配管距離が長い場合、また曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
  - ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
  - 付属のコネクターの固定(電線の接続)は、必ず専用の工具でカシメてください。
  - 屋内からの配線はAWG16(VCTF1.25SQ×4C)の配線を使用してください。

# 目次

	ページ	
	4	
はじめに	■ 梱包明細表	4
	1. 基本寸法図と各部名称	5
	2. システムイメージ	6
組付け手順	2-1 基本接続図	6
	2-2 すべての増設機器を接続した場合	6
	3. 電気錠ユニットの扉への組付け	7
	3-1 扉へ配線の引き込み	7
	3-2 制御ユニットの組付け	9
	3-3 屋外リーダーの組付け	9
	3-4 屋外リーダー化粧プレートの取付け	10
	3-5 電動サムターンの組付け	10
	3-6 マグネットの取付け	11
	3-7 電源ユニットの取付け	12
登録・設定	3-8 コントローラーユニットの取付け	13
	3-9 シークレットキー(テンキー)を使用する場合	13
	4. 電気錠の登録および設定	14
	4-1 カードキーの登録方法	14
	4-2 リモコンキーの登録方法	15
施錠方法	4-3 施解錠の確認	16
	4-4 コントローラーユニットの動作確認	16
施解錠方法	4-5 自動施錠ON/OFFの切替方法	17
	5. 施解錠方法	17
こんなときは	5-1 シリンダーや手動でのサムターンの施解錠方法	17
	6. 門扉のブザー音と表示について	18
	7. コントローラーユニットのブザー音とLED表示について	19
	8. リモコンキーのランプ表示について	19
	9. 施工チェックシート	20
	10. 商品仕様	20

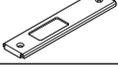
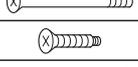
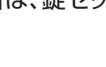
## ■ 梱包明細表

### 【1】部品セット

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
制御ユニット		1	電動サムターン(右/左勝手用)		1
框内配線		1	サムターン取付金具		1
屋外リーダー		1	電動サムターンパッキン		1
屋外リーダー取付部品		1	電動サムターンカバー		1
屋外リーダー化粧プレート		1	電動サムターンツマミ		1
電源ボックス		1	マグネット		1
門柱側プレート		1	カードキー(3枚セット)		1
電源配線		1	パッキン		1
ケーブルカバー(※1)		3	[1-1]φ4×10トラスタッピンねじ3種		2
リモコンキー		1	[1-2]φ4×12ナベタッピンねじ2種		2
コントローラーユニット側配線		1	[1-3]φ4×8トラスタッピンネジ3種		4
プレートパッキン		1	[1-4]φ4×16トラスタッピンネジ3種		2
配線接続用コネクタ		8	取付説明書<EXM-180>	—	1
			取扱説明書<EXM-178>	—	1

※1 開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)では使用しません。

### 【2】シリンダーセット(※2)

名 称	略 図	員 数
鎌錠ケース		1
シリンダー(※3)		1
キー(※4)		3
鎌錠ストライク		1
鎌錠トロヨケ		1
[2-1]φ5×50サラ小ねじ(※3)		2
[2-2]φ4×12サラタッピンねじ3種		4

※2 プッシュプルST錠を使用する場合は、錠セットに同梱されています。

※3 仮組みした状態になっています。

※4 施工終了後、必ず施主様にお渡しください。

### 【4】シークレットスイッチセット **オプション**

名 称	略 図	員 数
シークレットキー(テンキー)		1
取付プレート		1
2コ用スイッチボックス		1

### 【3】コントローラーユニットセット

※コントローラーユニットセットの取付説明書を参照してください。

はじめに
扉配線
制御ユニット
屋外リーダー
化粧プレート
電動サムターン
マグネット
電源ユニット
コントローラユニット
シーケツキー
カードキー登録
リモコンキー登録
施錠の確認
動作確認
自動施錠切替
施錠方法
こんなときは

# 1. 基本寸法図と各部名称 ※図は、H14内開き仕様を示します。〈 〉内寸法はH16の場合を示します。

## 1-1 基本寸法図と各部名称

### (1) 片開き

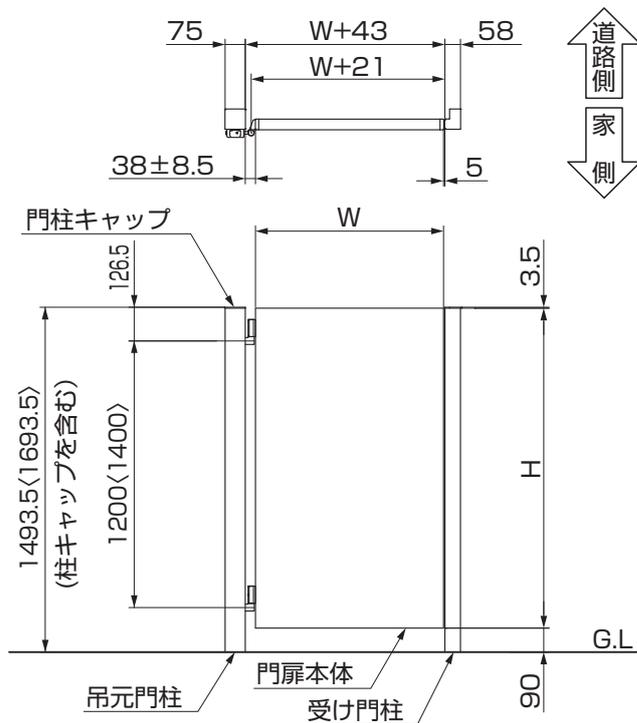


表1-1

呼称	W	H
07-14	700	1400
08-14	800	1400
09-14	900	1400
08-16	800	1600
09-16	900	1600

### (2) 親子仕様・両開き

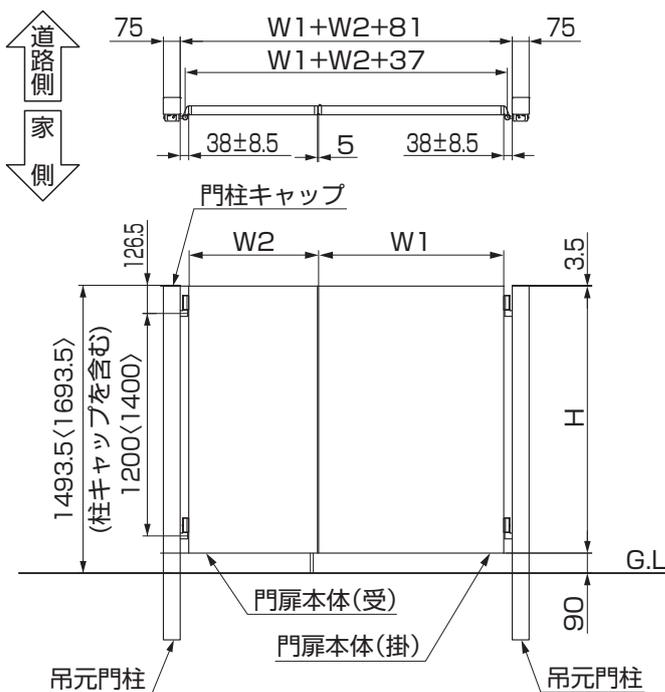


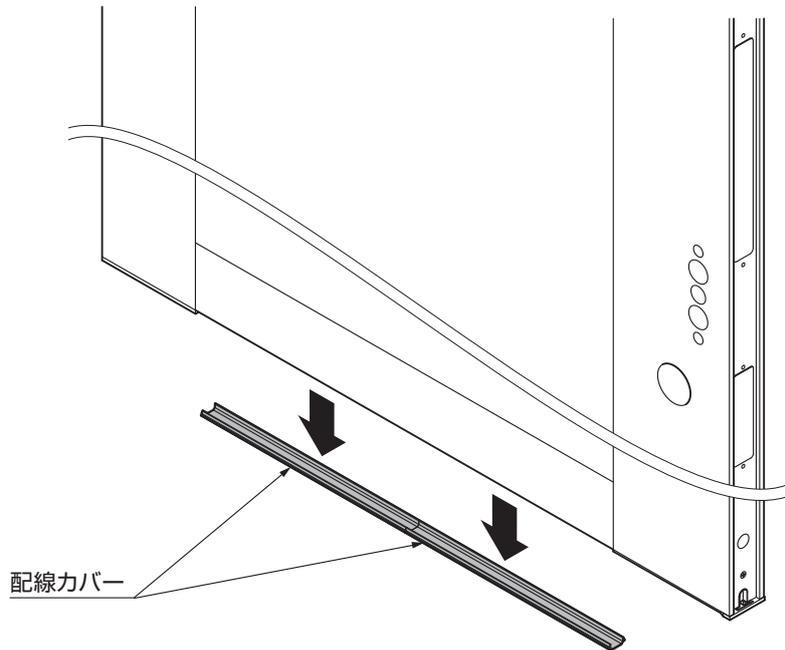
表1-2

呼称	W1 掛扉・受扉	W2 子扉	H
04-14	—	400	1400
05-14	—	500	1400
07-14	700	—	1400
08-14	800	—	1400
09-14	900	—	1400
05-16	—	500	1600
08-16	800	—	1600
09-16	900	—	1600

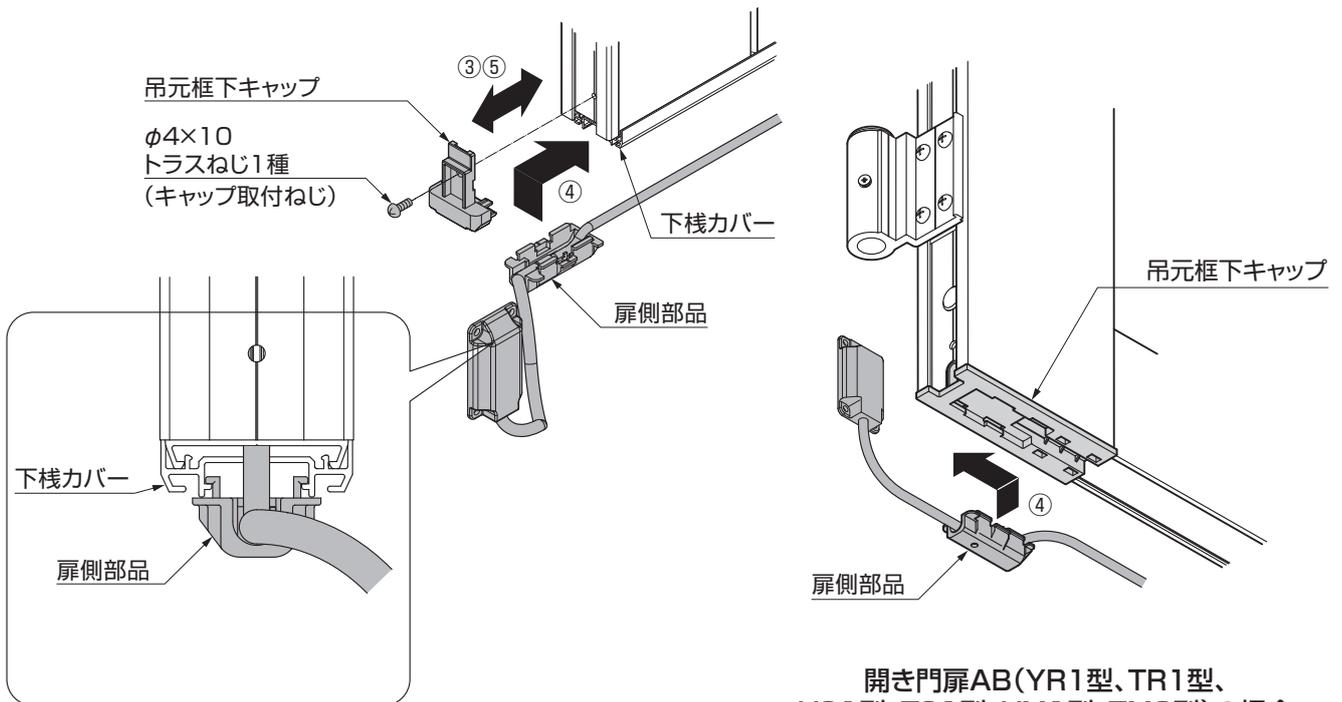


## 3. 電気錠ユニットの扉への組付け

### 3-1 扉へ配線の引き込み



- ①配線カバーを取外します。(開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合のみ)
- ②ケーブルカバーを任意の長さに切断して下さい。配線カバーはうち1本を端部より50mm切断して下さい。



開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合

- ③キャップ取付ねじを取外し、吊元框下キャップを外します。  
(開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)はキャップの取外しは不要です)
- ④電源配線の扉側部品を下棧カバーに差し込みます。開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合は、吊元框下キャップに差し込み吊元側にスライドさせます。
- ⑤吊元框下キャップを取付け、キャップ取付ねじで固定します。

#### ポイント

●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる可能性があります。

ねじの締付けトルク(推奨) : 1.2N・m{12kgf・cm}

はじめに
扉配線
制御ユニット
屋外リーダー
化粧プレート
電動サムターン
マグネット
電源ユニット
コントローラユニット
シーケツキー
カードキー登録
リモコンキー登録
施錠の確認
動作確認
自動施錠切替
シリンダーサムターン
こんなときは

### 3. 電気錠ユニットの扉への組付け つづき

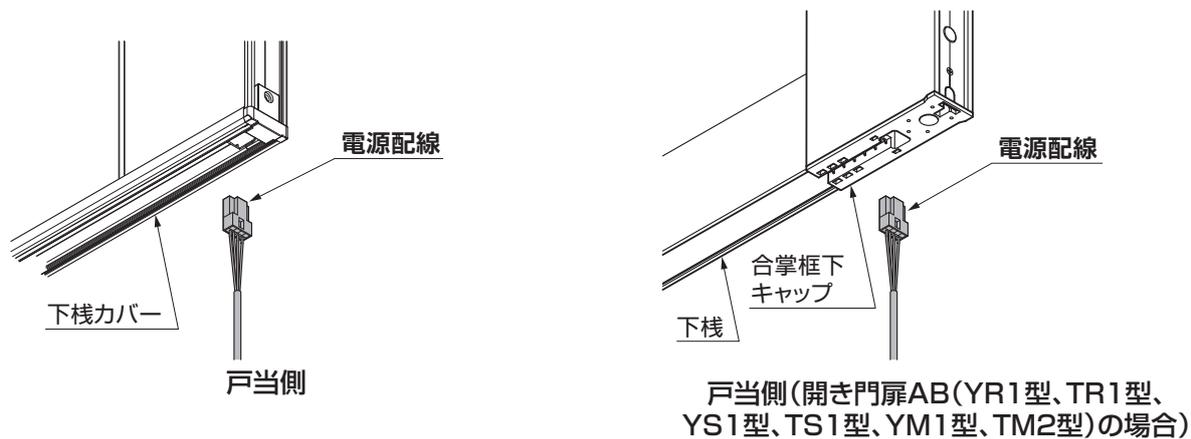


図3-1

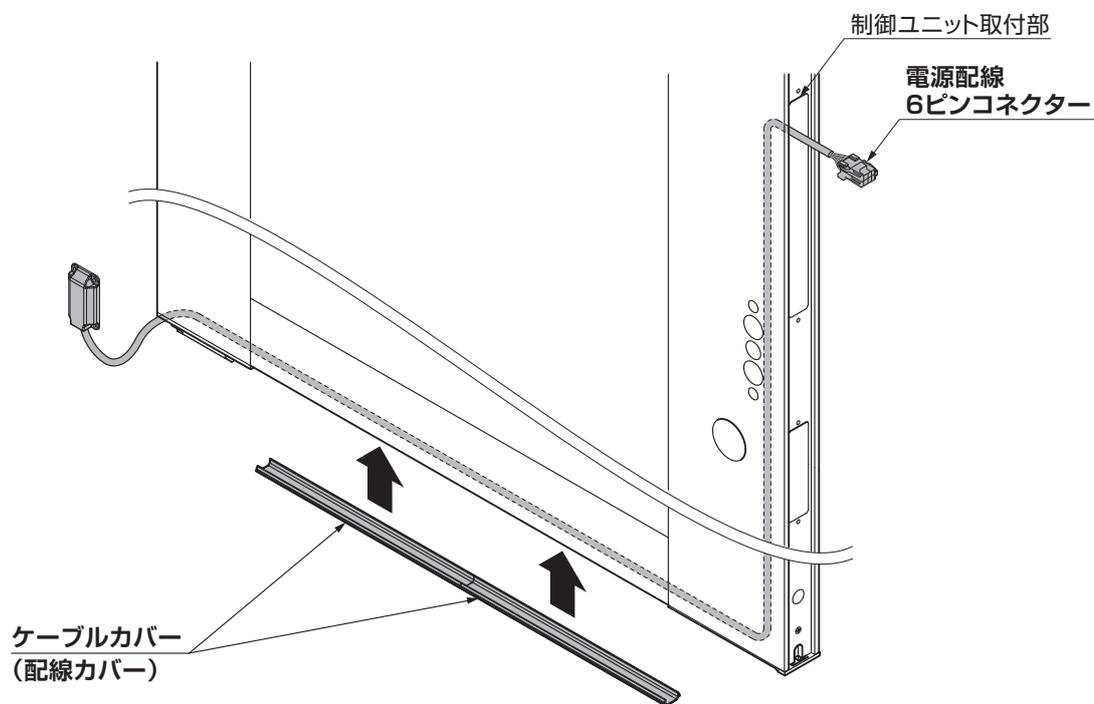


図3-2

⑥電源配線を制御ユニット取付部よりそれぞれ引き出します。(図3-1、3-2)

⑦ケーブルカバーを下棧カバーにはめ込みます。(図3-2)

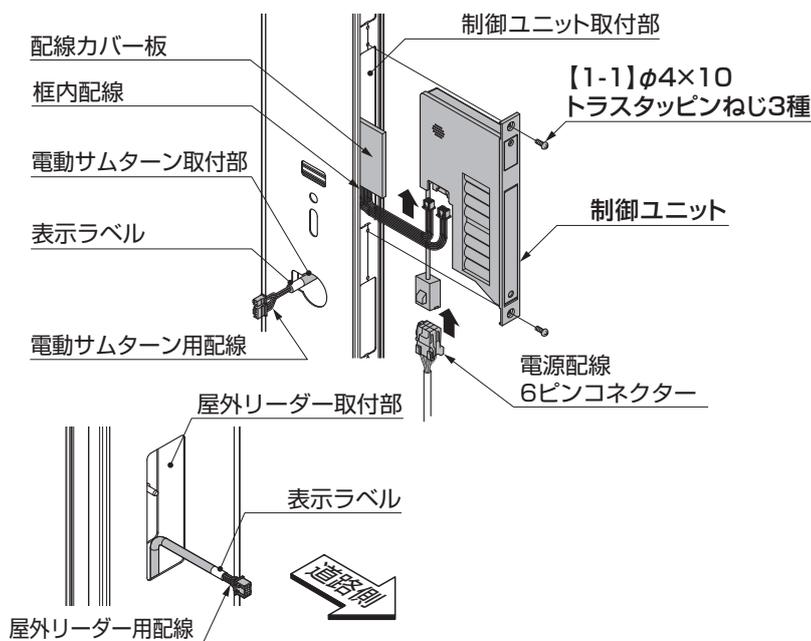
開き門扉AB(YR1型、TR1型、YS1型、TS1型、YM1型、TM2型)の場合は配線カバーを合掌框下キャップと下棧にはめ込みます。

**ポイント**

- 電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながる可能性があります。

ねじの締付けトルク(推奨) : 1.2N・m{12kgf・cm}

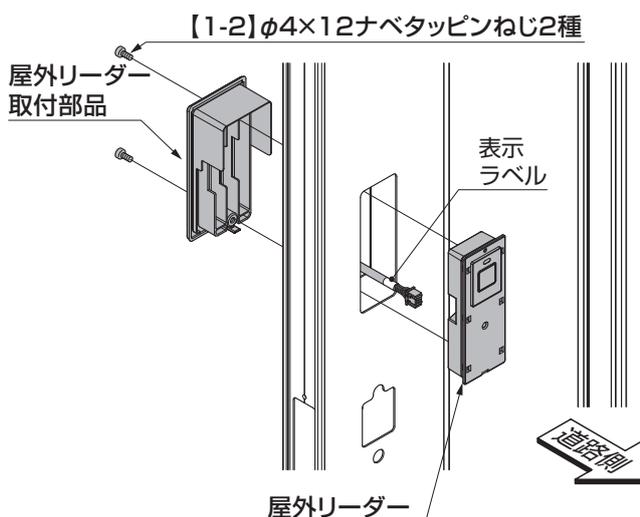
- コネクターは「カチッ」と鳴るまで差してください。
- 取付部品で配線を挟まないように注意してください。挟みますと断線や機器の故障の原因となります。

**3-2 制御ユニットの組付け**

- ①制御ユニットに框内配線と電源配線をそれぞれ差込みます。
- ②制御ユニットの取付部より配線を引き込み、屋外リーダー取付部、電動サムターン取付部より配線の表示ラベルにしたがい配線を引き出します。
- ③制御ユニットを扉に差込み【1-1】で取付けます。

**ポイント**

- 配線カバー板を先にいれて、その後制御ユニットを差込んでください。

**3-3 屋外リーダーの組付け**

- ①屋外リーダーに配線を差込みます。
- ②屋外リーダー取付部品に屋外リーダーを【1-2】で取付けます。

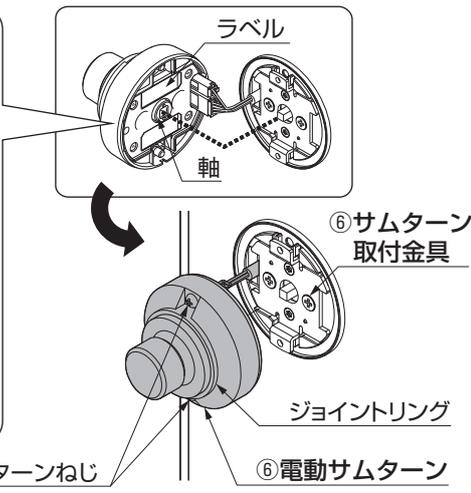


はじめに
扉配線
制御ユニット
屋外リーダー
化粧プレート
電動サムターン
マグネット
電源ユニット
コントローラユニット
シークレットキー
カードキー登録
リモコンキー登録
施解錠の確認
動作確認
自動施錠切替
施解錠方法
こんなときは

右吊[R]の場合    左吊[L]の場合

この向きで取り付ける

サムターンの軸をラベルの向きに合わせてください。間違えるとサムターンが回りません。合わせた後はジョイントリングを動かさないでください。軸の向きが連動して変わります。

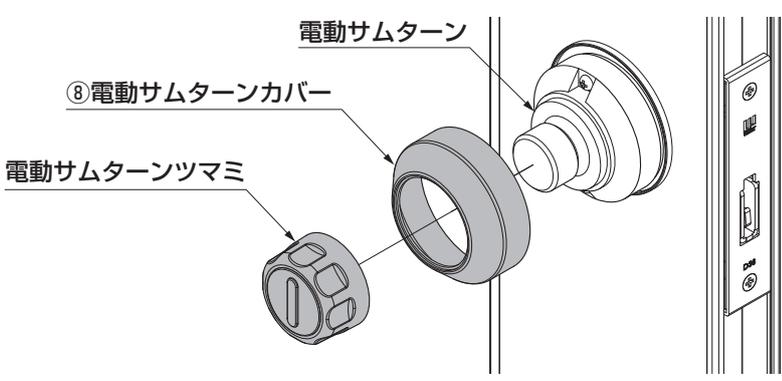


⑥ 電動サムターンをサムターン取付金具にはめ込みます。

**注意**

- 電動サムターンに向きがあります。向きを間違えると機器が故障や破損の原因となります。

⑦ サムターンねじで固定します。



⑧ 電動サムターンカバーをはめてから電動サムターンツマミを付けます。

**ポイント**

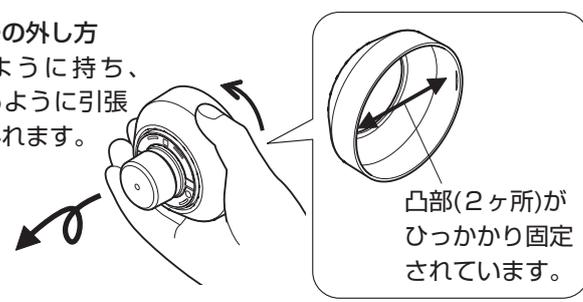
- 電動サムターンツマミに向きがあります。
- 電動サムターンパッキンに電動サムターンカバーが乗り上げないように取付けてください。電動サムターンが正常に動かないことがあります。

■メンテナンス時の対応

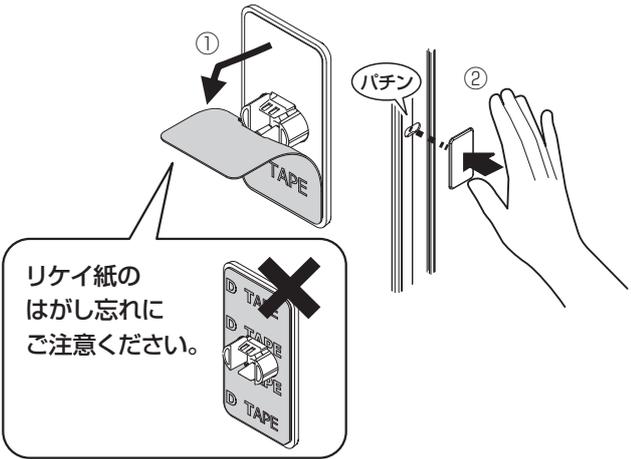
● ツマミの外し方  
ボタンをペン先やつまようじなどで押しながらツマミを引っ張ります。



● カバーの外し方  
図のように持ち、ひねるように引張ると外れます。



3-6 マグネットの取付け



① マグネットのリケイ紙をはがします。

**ポイント**

- リケイ紙をはがし忘れないでください。

② マグネットを合掌框または受け門柱に貼り付けます。マグネットを3秒以上強く押付け圧着させてください。

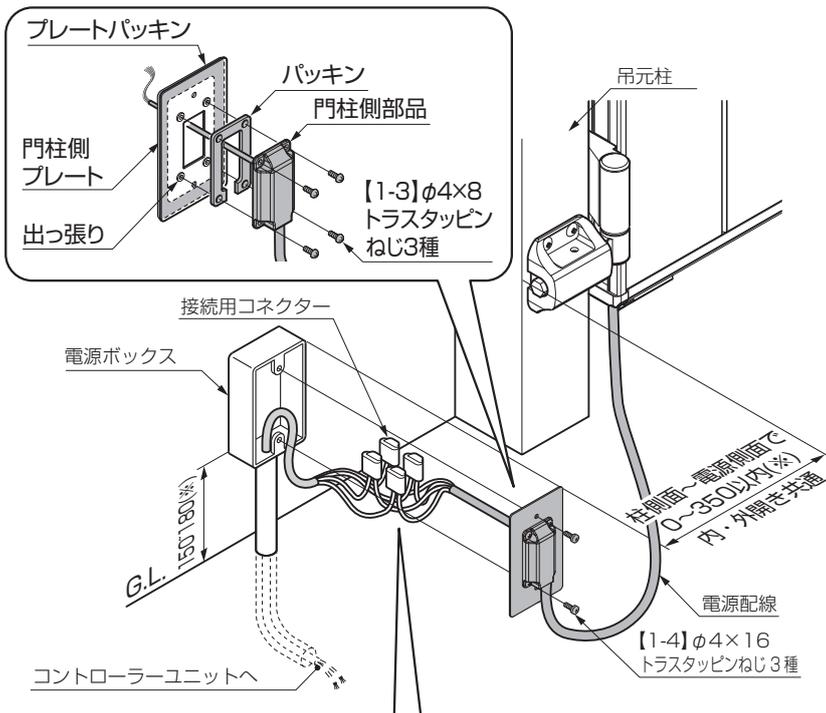
**ポイント**

- マグネット貼り付け面が汚れている場合は掃除をしてください。汚れたまま貼り付けると外れることがあります。

## 3. 電気錠ユニットの扉への組付け つづき

### 3-7 電源ユニットの取付け

(1) 電源ボックス側 ※目安寸法です。現場状況に合わせて施工してください。



#### ポイント

●門柱側プレートには裏表があります。事項のプレートパッキンはネジ取付部に出っ張りの無い面に取り付けてください。

- ①門柱側プレートにプレートパッキンを貼り付けてください。
- ②門柱側プレートの穴に電源配線を通し、門柱側プレートと電源配線の門柱側部品のパッキンを挟み、【1-3】で取付けてください。
- ③門扉から出てくる電源配線の先を、30mm程度を目安に切断して切り落としてください。(被覆は必要ありません)(図3-3参照)
- ④門扉からきた電源配線とコントローラーユニットからきている同じ配線色同士を接続用コネクタを用いて結合してください。

#### ポイント

●コネクタのカシメ方法は、図3-4を参考に作業をしてください。  
●電線の被覆は必要ありません。  
●プライヤーを用いてください。



- ⑤コネクタ部に防水テーピングを施してください。

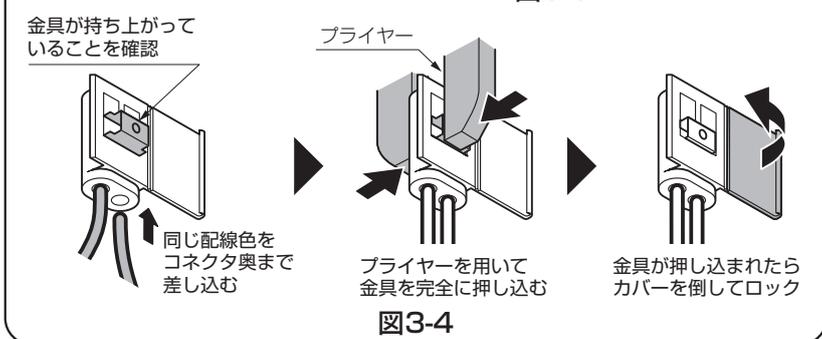
#### ポイント

●コネクタの圧着は確実にいき、必ず防水テーピングを施してください。防水テーピングをしないと作動不良の原因になります。  
●コネクタ自体に防水性はありません。ボックス外で接続を行う場合は防水専用を使用してください。

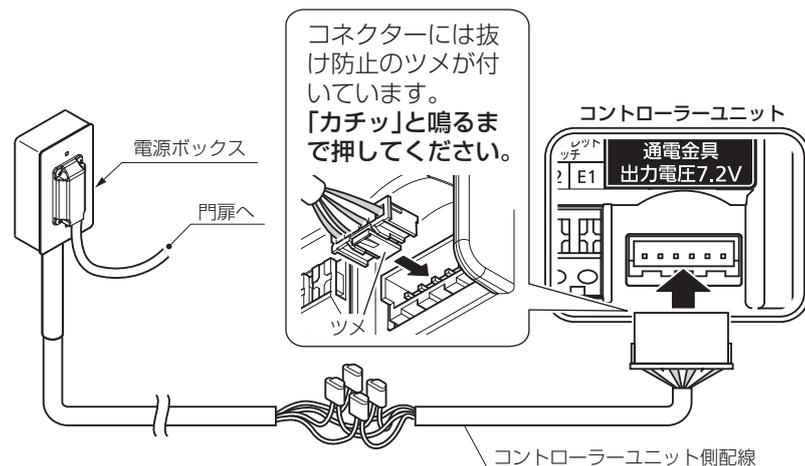
- ⑥電源ボックスに、電源配線が下側に出る向きで、門柱側プレートを【1-4】で取り付けてください。



図3-3



### (2) コントローラーユニット側



#### ポイント

●図3-4を参考に作業をしてください。

- ②コントローラーユニットに接続端子を差し込んでください。

#### ポイント

●オプションで屋外配線(50m)を選択した場合は、コントローラーユニット側での結合作業は必要ありません。(配線に元々端子がついています)

はじめに
扉配線
制御ユニット
屋外リーダー
化粧プレート
電動サムターン
マグネット
電源ユニット
コントローラーユニット
シークレットキー
カードキー登録
リモコンキー登録
施錠の確認
動作確認
自動施錠切替
施錠方法
シリンダーサムターン
こんなときは

### 3-8 コントローラーユニットの取付け

コントローラーユニット(および電気錠操作ボタン)の接続方法等は、必ず各商品の取付・取扱説明書に従ってください。

### 3-9 シークレットキー(テンキー)を使用する場合 **オプション**

#### (1) シークレットキー(テンキー)の取付け

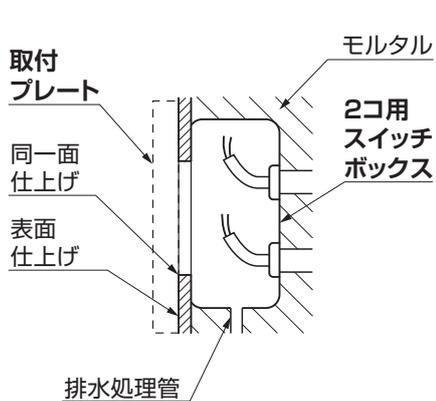


図3-5

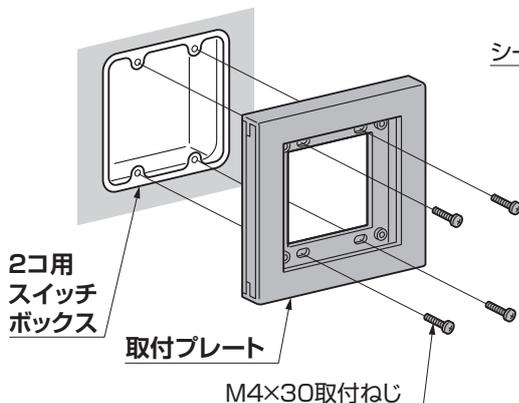


図3-6

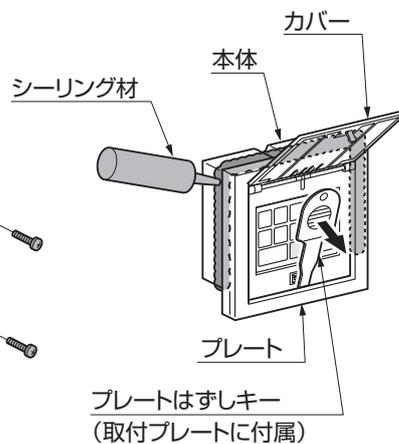


図3-7

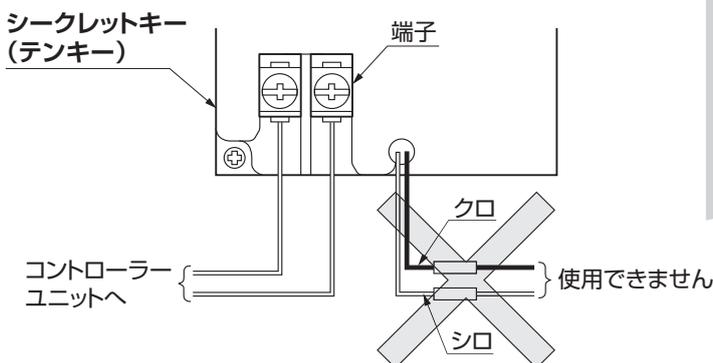


図3-8

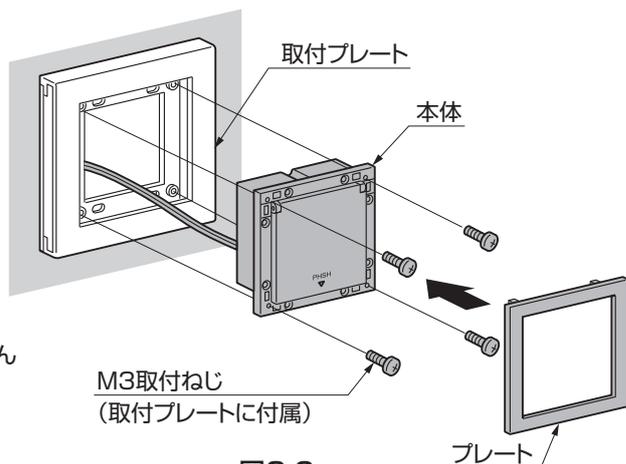


図3-9

①2コ用スイッチボックスを、門扉の外側の壁面に埋込んでください。(図3-5参照)

#### ポイント

- 表面仕上げと2コ用スイッチボックスの取付プレート用穴面は凹凸のないように、同一面に仕上げてください。
- 必ず排水処理管工事を行なってください。また、水抜き穴をふさがないでください。
- タイル面などの取付け面に凹凸がある場合は、すき間を埋めてください。

②2コ用スイッチボックスに「M4×30取付ねじ」で取付プレートを固定してください。(図3-6参照)

③シークレットキー(テンキー)のプレートを取外してください。(図3-7参照)

#### ポイント

- 取付プレートに付属のプレートはずしキーをプレートと本体のすき間に差し込みプレートを取外してください。

④シークレットキー(テンキー)本体のつなぎ目の上面と側面にシーリングをしてください。

(下面にはしないでください)(図3-7参照)

⑤コントローラーユニットからの配線と、電気錠変換ボックスへの配線を端子に結線してください。(図3-8参照)

⑥シークレットキー(テンキー)を「M3取付ねじ」で、取付プレートに固定してください。(図3-9参照)

⑦プレートをシークレットキー(テンキー)に取付けてください。(図3-9参照)

## 4. 電気錠の登録および設定

キーの登録、設定方法等はこちらのLIXIL電気錠サポートサイトからご確認ください。

### LIXIL 電気錠サポート

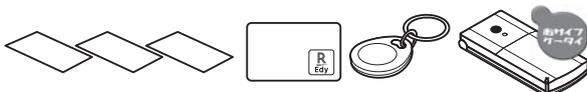
<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>



### 4-1 カードキーの登録方法

#### (1) 登録の前に

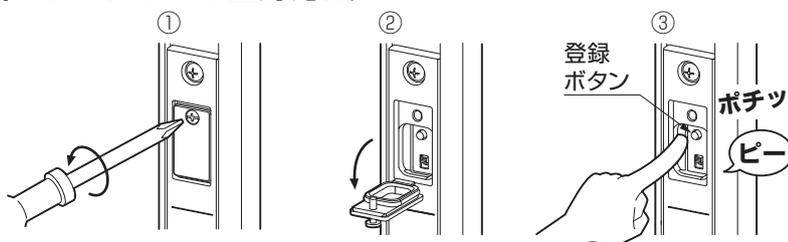
- 登録したいカードキー・タグキー(以下、「タグキー」は省略)をすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)
- ※新たに登録するとすでに登録済みのカードキーのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書をご参照ください。
- ※カードキーの登録だけでは、リモコンやスマートフォンの登録データは消去されません。



#### ポイント

- 【おサイフケータイの場合】  
楽天Edyアプリをインストールしてください。アプリがインストールされていないと登録できません。楽天Edyについての詳細は楽天Edy公式サイトをご確認ください。  
<https://edy.rakuten.co.jp/>

#### (2) カードキーの登録方法



①制御ユニットのフタのねじをゆるめます。

#### ポイント

- 手回しドライバーをご使用ください。  
約10回転回します。

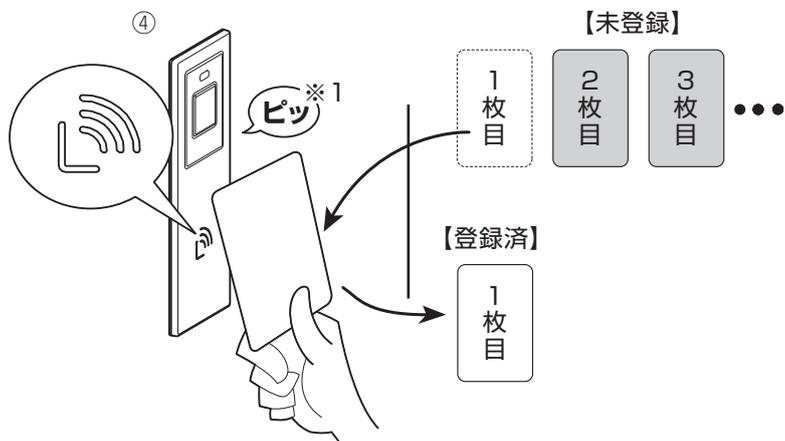
②フタを外します。

③登録ボタンを1秒以上押し、離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

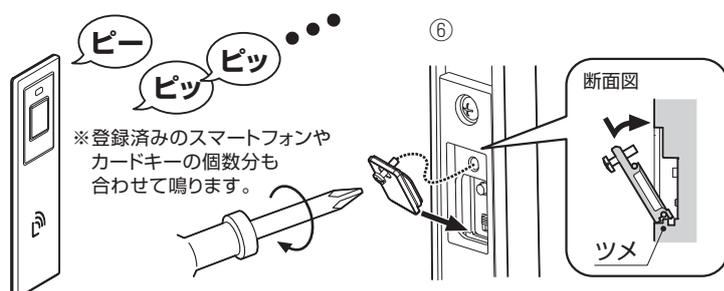
④1枚ずつカードキー「」マークにかざし登録します。

#### 補足

- 登録の都度、登録済み枚数分だけ「ピッ音」が鳴ります。(例:1枚目「ピッ」、2枚目「ピッ、ピッ」)(※1)
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録枚数は10枚です。
- 続けてリモコンキーの登録もできます。詳しくは「リモコンキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのカードキーを複数の門扉(無制限)に登録できます。



⑤登録完了音の30秒後(※2)



※登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

⑤約30秒待つと登録モードが終了し、「ピー音」の後、登録枚数分「ピッ音」が鳴ります。(※2)

⑥フタを元に戻します。

#### ポイント

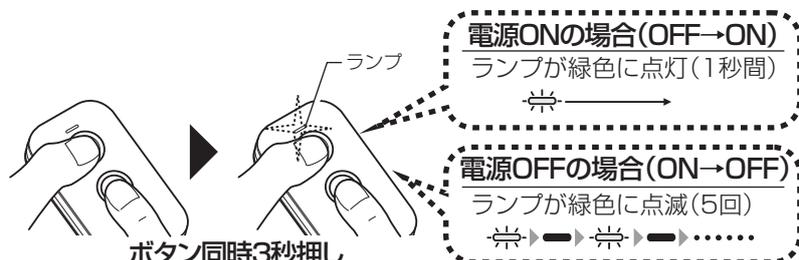
- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

はじめに
扉配線
制御ユニット
屋外リーダー
化粧プレート
電動サムターン
マグネット
電源ユニット
コントローラユニット
シークレットキー
カードキー登録
リモコンキー登録
施錠の確認
動作確認
自動施錠切替
施錠方法
シリンダーサムターン
こんなときは

## 4-2 リモコンキーの登録方法

### (1) リモコンの電源ON/OFFについて

●2つのボタン同時長押しでリモコンの電源をON/OFF できます。



#### ポイント

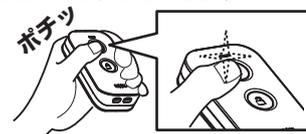
- 電源をOFFにするとリモコンは使用できなくなります。しばらく使用しないときは電源をOFFにしてください。
- 電池を入れ替えた場合も電源がOFF→ONになります。

### (2) 登録の前に

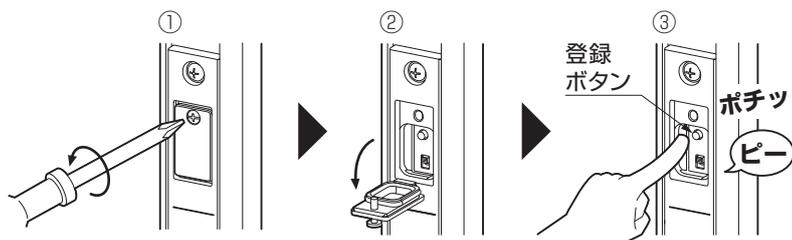
- 登録したいリモコンをすべて集めます。(すでに登録済みの分も含みます。)
- ※新たに登録するとすでに登録済みのリモコンのデータがすべて消去されますが、アプリにて「追加登録」設定を有効にするとデータを消去せずに追加登録することができます。詳しくは取扱説明書をご参照ください。
- ※リモコンの登録だけでは、カードキーやスマートフォンの登録データは消去されません。



- リモコンのボタンを押してランプが点灯する(電源がONになっている)事を確認します。
- ※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。出荷時は電源がOFFになっております。



### (3) リモコンキーの登録方法



①制御ユニットのフタのねじをゆるめます。

#### ポイント

- 手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

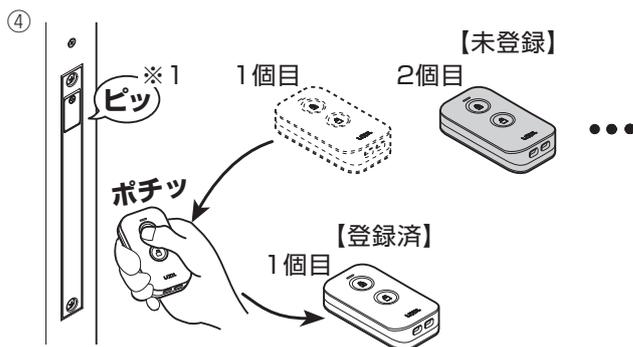
②フタを外します。

③登録ボタンを1秒以上押し、離すと「ピー」音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

④1個ずつリモコンキーのボタンを押して登録します。

#### 補足

- 登録の都度、登録済み個数分だけ『ピッ音』が鳴ります。(例:1個目『ピッ』、2個目『ピッ、ピッ』)(※1)
- 30秒以内に続けて登録してください。
- 最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
- 続けてカードキーの登録もできます。詳しくは「カードキーの登録方法」をご参照ください。
- 1つのリモコンに最大10台の門扉を登録できます。11台目の門扉を登録すると、リモコンから1台目の門扉登録情報が自動的に削除されます。



⑤登録完了音の30秒後(※2)



※登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

#### ポイント

- 下部のツメをひっかけてからねじを締めてください。

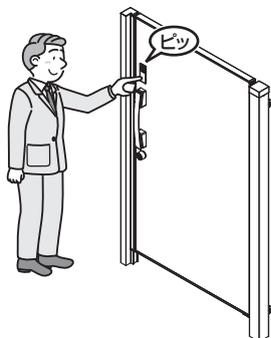
- ⑤約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー音』の後、登録個数分『ピ音』が鳴ります。(※2)
- ⑥フタを元に戻します。

## 4. 電気錠の登録および設定 つづき

### 4-3 施解錠の確認

#### ●カードキーの場合

タッチボタンを押し、カードキーを「」マークにかざします。



#### ●リモコンキーの場合



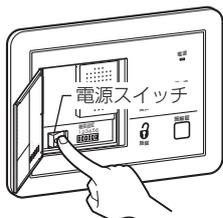
カギが施解錠することを確認します。



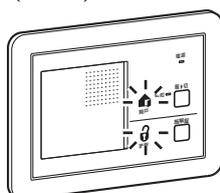
※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.18を参考に対処してください。

### 4-4 コントローラーユニットの動作確認

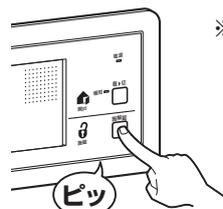
①コントローラーユニットの電源を入れます。



②開戸表示と解錠表示が正しく点灯、消灯するか確認します。  
→(P.19)



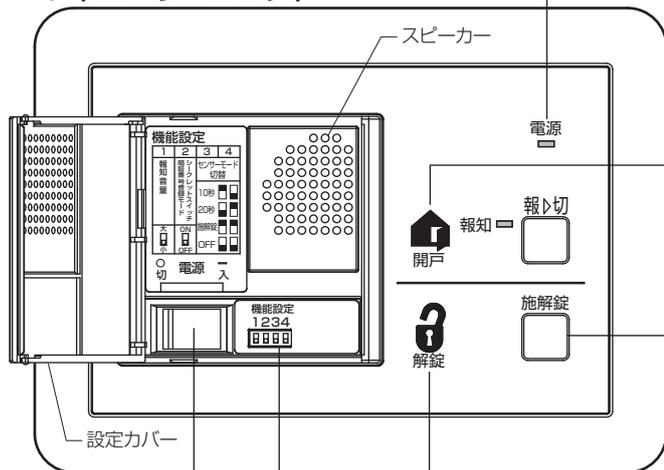
③門扉を閉め施解錠ボタンを押し、施解錠できるか確認します。



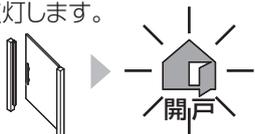
※入荷時のコントローラーは未登録状態となっており施解錠操作できません。登録するには解錠状態で5分放置、または施解錠ボタンを押してください。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.19を参考に対処してください。

#### コントローラーユニット



**電源表示**  
電源が入っている時に緑色で点灯します。  


**開戸表示**  
門扉が開いている時に赤色で点灯します。  


**施解錠ボタン**  
門扉が閉まっているときのみ錠の操作ができます。  
**重要なお願い**  
点検終了時は必ず手でサムターンを回し解錠してください。施解錠ボタンによる解錠後、電源の入り切りをすると意図せず自動施錠する場合があります、閉め出されるおそれがあります。

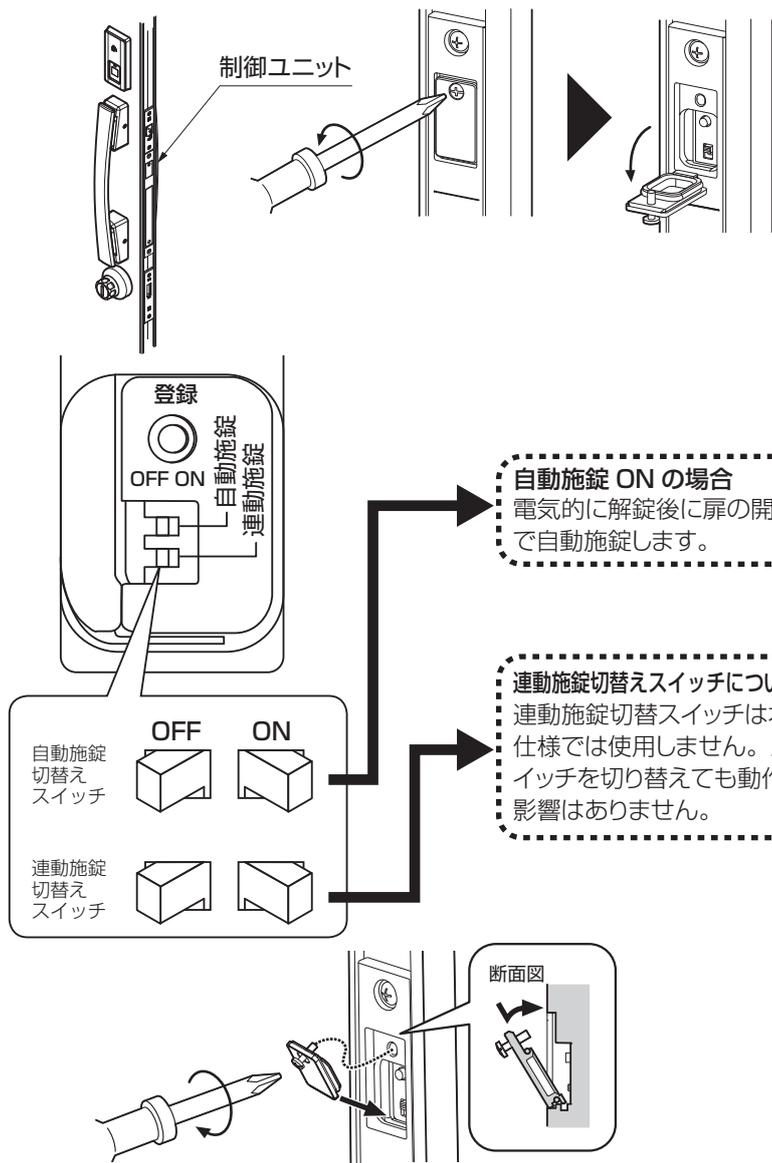
**電源スイッチ**  
電源の入り、切りができます。

**報知音量(スイッチ1)**  
報知音(ポロロン)の音量を大きくできます。  
**報知音量の調整**  
1 音量 1 音量  
■ 小 ■ 大

**シークレットスイッチ 暗証番号登録モード(スイッチ2)**  
シークレットスイッチ暗証番号登録モードの電源の入り切りができます。  
**報知音量の調整**  
2 電源 2 電源  
■ 切 ■ 入

**解錠表示**  
錠が解錠している時に赤色で点灯します。  


## 4-5 自動施錠ON/OFFの切替方法



①制御ユニットのフタのねじを緩めます。

### ポイント

●手回しドライバーをご使用ください。約10回転回します。

②フタを外します。

③スイッチを切り替えます。

### ポイント

●スイッチを操作しにくい場合は、爪楊枝などを利用して優しく操作してください。  
●キーを一度も登録したことがない場合、左記機能はすべて作動しません。

④フタを元に戻します。

### ポイント

●下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

※出荷時はどちらもOFFの状態です。

## 5. 施解錠方法

### 5-1 シリンダーや手動でのサムターンの施解錠方法

①シリンダー、サムターンを手で回し施解錠できます。(図5-1、5-2参照)

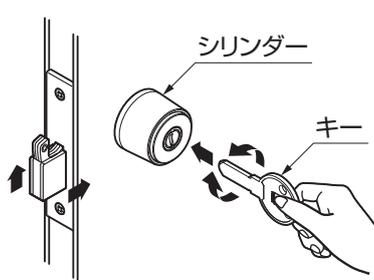


図5-1 シリンダー

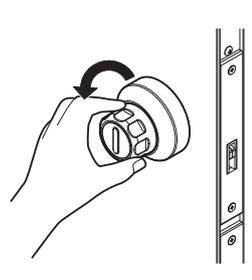


図5-2 サムターン

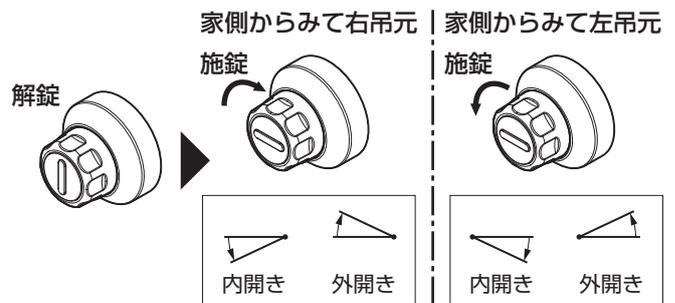


図5-3 サムターンの向きと表示

### ポイント

●サムターンにはまわす向きがあります。(図5-3参照)  
●手動操作の場合、自動施錠のON・OFFに関わらず自動施錠しません。しめ忘れのないように注意してください。

はじめに

扉配線

制御ユニット

屋外リーダー

化粧プレート

組付け手順

電動サムターン

マグネット

電源ユニット

コントローラユニット

シーケツキー

カードキー登録

リモコンキー登録

登録・設定

施解錠の確認

動作確認

自動施錠切替

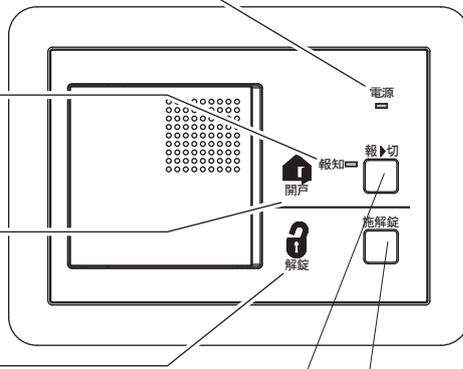
施解錠方法

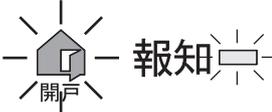
こんなときは



はじめに
扉配線
制御ユニット
屋外リーダー
化粧プレート
電源ユニット
コントローラーユニット
シーケツクキー
カードキー登録
リモコンキー登録
登録・設定
施錠の確認
動作確認
自動施錠切替
施錠方法
シリンダーサムターン
こんなときは

## 7. コントローラーユニットのブザー音とLED表示について

表示内容	お知らせ内容	
電源表示が緑色で点灯 <b>電源</b> 	電源が入ってます。	 <p>コントローラーユニット</p> <p>報切ボタン</p> <p>施解錠ボタン</p>
報知表示が緑色で点灯 <b>報知</b> 	報知設定になっています。	
開戸表示が赤色で点灯 	門扉が開いています。	
解錠表示が赤色で点灯 	カギが解錠しています。	

ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、……		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロロン、ポロロン… ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に 開戸表示が赤色の点灯 	門扉が開けられました。	門扉を閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が 一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が 交互に点灯する 電源  ↔ 報知 	機器にエラーがありました。	LIXIL 修理受付センターもしくは、ご購入の販売店にご相談ください。
—	開戸表示と解錠表示、報知 表示が同時に点滅する。		

## 8. リモコンキーのランプ表示について

ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法
緑色で点灯 (0.1 秒間) 	ボタンが押されました。	
緑色で点灯 (1 秒間) 	電源が ON になりました。	
緑色で 5 回点滅 	電源が OFF になりました。	
緑色で 3 回点滅 	登録が成功しました。	
上記のランプ表示が 赤色で点灯・点滅	電池容量が残りわずかになりました。	電池 (CR2032) × 2 個を新品に交換してください。
橙色で 5 分点灯 	リモコンに異常があります。	お客さま相談センターに相談されるかご購入の販売店にご相談ください。



## 9. 施工チェックシート

施工完了後、または門扉が正常に作動しない場合には、以下の確認をお願いします。

<b>電気錠は正常に作動していますか？</b>	チェック	<b>配線図通りに正しく結線されていますか？</b>	チェック
・ブレーカーが切れていませんか？		・ピンコネクターはしっかりと接続されていますか？	
・コントローラーユニットの電源スイッチが「切」側になっていませんか？		・断線やショート箇所はありませんか？	
<b>【対応方法】電源を入れ直してください。</b>		<b>【対応方法】「2.システムイメージ」「3.電気錠ユニットの扉への取付け」の項を参照し正しく結線してください。</b>	
・AC100V用電源線は正しく接続・供給されていますか？		<b>シリンダーやサムターン、ストライクの取付状態は良好ですか？</b>	チェック
<b>【対応方法】施工店様もしくは電気工事店様に供給状況を確認してください。</b>		・ガタツキやゆるみはありませんか？	
<b>門扉は正常に施工できていますか？／施錠できていますか？</b>	チェック	・取付方向は正しいですか？	
・扉がねじれていたり傾いていませんか？		<b>【対応方法】扉の建付け調整(修理)を行ってください。</b>	
<b>【対応方法】扉の建付け調整(修理)を行ってください。</b>		<b>暗証番号を入力すると解錠されますか？</b>	チェック
・扉を閉めると開扉ランプは消灯しますか？		・番号を間違えていませんか？	
・扉と戸当たり(もしくは受け扉と掛け扉)のチリ寸法が5±1mm以上・以下になっていませんか？		<b>【対応方法】約10秒後にもう一度入力し直してください。</b>	
<b>【対応方法】チリ寸法を5±1mmに調整してください。</b>			

### ポイント

- 点検時に配線をつなぎ直す場合は、必ず電源を落として行ってください。また、エラーが出た際には、電源を入れ直すと正常に作動する場合があります。

## 10. 商品仕様

### (1) コントローラーユニット

項目	仕様
電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大:8W／待機時:約1.5W
出力電圧	DC7.2V
音量	報知音(大):約73dB(前方1m)
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃
外形寸法(単位mm)	162×120×52

### (2) リモコン

項目	仕様
入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032 2個
電池寿命	約1年(常温20℃ 操作:10回/日)
出力周波数	2402~2480MHz
電界強度	85dB $\mu$ V/m(参考値)
無線局の種別	2.4GHz帯高度化 小電力データ 通信システム
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃

### (3) 制御ユニット

項目	仕様
入力電源仕様	DC7.2V(コントローラーユニットまたはACアダプターより給電)
出力周波数	2402~2480MHz／13.56MHz
電界強度	85dB $\mu$ V/m／112dB $\mu$ V/m(参考値)
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム／誘導式読み書き通信設備
使用環境温度範囲	-10~50℃
使用環境湿度範囲	20~90%(相対湿度)
保存環境温度範囲	-20~60℃
スマートフォン登録可能数	計10台(最大同時接続台数6台)
リモコン登録可能数	
カードキー登録可能数	最大10枚

### (4) カードキー

項目	仕様
使用環境温度範囲	-10~50℃
保存環境温度範囲	-20~60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられることがあります。

以下の機器はパナソニック株式会社の製品です。仕様については、パナソニック株式会社のホームページまたは各機器同梱の取付け説明書を参照ください。

- 電気錠操作押ボタン
- シークレットスイッチ

取説コード

**EXM-180**

JZZ641371  
202501\_1049